

## 第4期三豊市生涯学習推進計画（素案）に対するパブリックコメントの実施結果

1. 募集期間 令和8年1月9日（金）～令和8年2月9日（月）
2. 募集結果 提出数1名、提出件数3件
3. 意見及び回答

	意見	市回答
1	<p><b>【全体について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の要点がぼやけてそもそもなにを伝えようとしているのかが不明である。</li> <li>具体的な課題、第4期で実施したい具体的施策がいずれも不明である。</li> <li>第3期の課題と達成度の評価、未達成課題を第4期で引き継ぐのか方針転換するのか不明である。</li> <li>・アンケートについて、課題を認識して調査するなら質問を絞り込み、提案を交えて感触を確かめようとすると思うが素案のアンケートは何を確かめようとしたのかわからない。従って分析結果も計画の方向性の参考になっていない。</li> <li>・「縮充」それっぽい造語でごまかさず、はっきり「公民館予算の削減」とか伝えるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画は、市として生涯学習をどのように推進していくか方向性を示すことを目的としており、具体的な施策は、計画に沿って個々の事業の中で実行することとしています。</li> <li>第3期からの未達成課題についても、各事業を進めていく中で検討してまいります。</li> <li>・今回実施したアンケートは、各事業に対する関心や満足度について問う設問を中心とし、5年後の計画策定時にも同様のアンケートを実施することで、市民の関心や満足度がどのように変化し、どのような影響を与えたかを検証する目的で作成しています。</li> <li>個別の事業の内容に関する詳細なアンケートは、各施設の利用者などを通じて別途対応する予定です。</li> <li>・「縮充」とは、単に予算削減のみを目的としたものではなく、施設の利活用や施設統合などを行いながら、分散していた資源を統合・集中することにより、機能の充実を図る方針のことで。</li> </ul>

	<p>・本が読まれない傾向が急激に進む中、図書館の役割も抜本的に見直す必要があるのでは？</p>	<p>・利用者アンケートや有識者の意見を通じて、居心地の良い図書館づくりを目指し、その役割についても見直しを進めてまいります。</p>
2	<p><b>【33 ページ 施策 1:生涯学習の環境づくりの「課題」について】</b>  「デジタルデバイド」は生涯学習の喫緊・将来性のある課題ではないのか？  「スマホ使い方講座」でなく、「広報みとよアーカイブ」「デジタルテレビで回覧閲覧」など便利サービスを提供して動機づけ、サービス利用を通じて習熟度向上させるような社会実験を高専や大学の研究室と協力して実施するとか…</p>	<p>デジタルデバイド（情報格差）については、本市の最上位計画である「三豊市第2次総合計画」内でも重要な課題と位置付けられています。  ご意見いただいた個別の事業実施についても検討してまいります。</p>
3	<p><b>【35 ページ 施策 1:生涯学習の環境づくり「施策・事業の概要」1－5について】</b>  「老朽化した施設の統合・集約化を前提とした「縮充」を進め、サービスと機能を充実させた施設運営を行います。」について。  施設は「そこにある」ことに大きな価値がある。低予算で耐震性を高めてから地域の自治会・企業・組合などに寄付・運営委託などの「残す」工夫して市や公民館が活用できなかった施設を再生してほしい。</p>	<p>施設の再配置につきましては、「三豊市公共施設等総合管理計画」に基づきながら、地域住民の皆さまが利用しやすい公共施設の配置に努めます。</p>